



ぎかいの窓

令和4年6月に行われた綾町議会の様子を覗いてみましょう…



綾川荘のプール開き(7月16日)

目次

■補正予算	P 1
■陳情・報告	P 2
■5月臨時議会(条例改正・補正予算)	P 3
■議決一覧、議会活動	P 3 ~ 4
■一般質問	P 5 ~ 12

補正予算

討論

反 = 反対討論

賛 = 賛成討論

議案第35号

令和4年度綾町一般会計補正予算(第1号)

■補正額: 2億71,085千円 ■補正後予算: 51億69,085千円

- ・コロナ対策商品券配布(1人9,000円): 64,600千円
- ・コロナ対策宿泊費補助(2千円×5,000件): 10,000千円
- ・原油価格物価高騰対策: 45,900千円
- ・低所得子育て世帯生活支援(1児童5万円): 7,516千円
- ・中坪保育所空調改修工事: 9,790千円
- ・健康センター空調改修工事: 11,000千円

賛 (日高幸一) コロナ禍において、仕入れ価格上昇等により燃油、資材高騰等、農業・畜産の生産者は大きな打撃を受け収益が減少した。農林業者の負担を軽減するため経費の一部を補助する為の補正で賛成とする。

賛 (青木) 水上スキー連盟への補助金は廃止されたが、今後の関わり方を明確にすべき。ごみの戸別収集の実証実験では課題が多く見つかったことから、従来のやり方を充実させる方が現実的だ。また、生ごみの堆肥化はやめるべき。日本治水からの水処理装置の寄付には感謝したい。

賛 (橋本) 臨時交付金は給食費関係や燃油高騰対策に充てることもできるので、給食費の減免に取り組んでほしかった。安全面から保育施設等に通園する子どもの主食持参をなくすよう求める。PCR検査等の情報提供もきめ細かく実施すべき。低所得子育て世帯生活支援特別給付金は、実態を把握し必要な人にもれなく行きわたるよう努めること。

賛 (松本) 全体としては一定の評価をしているが、水道基本料金や給食費の期間限定での無料化など、もう少し焦点を絞った支援策が含まれていないのは極めて残念。また、今回の様々な支援策については、町民及び対象者に対して、もれなく又わかりやすい情報発信による周知徹底を強く求める。

議案36号

令和4年度綾町介護保険特別会計補正予算(第1号)

■補正額: 5,008千円 ■補正後予算: 9億63,008千円
・総務管理費(職員1名増): 4,908千円 ・介護認定審査会費: 100千円

賛 (松本) 今回の補正は、人事異動に伴うものだが、綾町においても高齢化が進む中で、介護や高齢者に係る業務が増えることは必然である。職員の負担軽減と町民サービスの向上を両立していくためにも、全ての事業及び業務の精査・見直しの実施に加えて、職員の能力やモチベーションの向上を図るべく戦略的な人材育成計画や適正な人事評価制度の構築が必要。

議案第37号

令和4年度綾町水道事業会計補正予算(第1号)

資本的支出 ■補正額: 12,600千円 ■補正後予算: 1億68,600千円
・緊急時用給水タンク: 4,000千円 ・給水タンク収納倉庫: 7,000千円

陳 情

陳情第1号

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全及び環境保全について思いをはせる機会とする。

- 反** (松本)「海の日」以外の祝日にも制定日に意味があることから、「海の日」だけを特別に固定化することには違和感を覚える。また、「海の日」を7月の第3月曜日と定めていることから、「海の日」にちなんだ各種イベントを開催する場合でも特段の支障が出るとは考えにくい。
- 反** (橋本)日本共産党は、海の環境や資源について考えたり、海に親しむ機会にするために国民の休日として「海の日」を設けること自体には賛成。しかし、7月20日とすることは反対。戦前の「海の記念日」に由来しているのが反対理由。真珠湾攻撃で対米英戦争を開始した1941年(昭和16年)で、「徹底的なる戦時態勢を必要とし、国力の充実をはかるため」が狙いだった。

陳情第2号

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

沖縄県に押し付けてきた米軍基地を本土に引き取ったうえで、公平公正に日本全体の問題として議論し、沖縄を犠牲にしない安全保障政策を要望する。

- 賛** (日高幸一)沖縄が日本に復帰して今年で50年になる。今現在も県民の民意を無視した状況だ。何よりも沖縄を犠牲にしない安全保障政策を国民全体で議論して解決していくべき。
- 反** (橋本)陳情趣旨にある沖縄の現状についての認識も辺野古新基地建設への反対も同感だ。国民一人一人が当事者であり責任者であることは否定しない。しかし、陳情趣旨通りに基地を本土で引きとることが問題解決にはならない。安保条約第10条にある無条件での日米安全保障条約の破棄こそすべき。
- 反** (松本)沖縄に米軍基地が集中していることは事実であり、日本の安全保障と沖縄の負担軽減について、国民一人ひとりが決して他人事ではなく当事者意識を持って日本全体の問題として議論すべきとの考え方には賛同する。しかしながら、「捨て石」という表現に違和感を覚えるし、現在の安全保障政策が差別的であるとは思わない。また、辺野古新基地建設の断念や普天間基地の「本土」引き取りについて現時点では現実的ではない。

報 告

報告第1号

繰越明許費の報告について (令和3年度綾町一般会計予算繰越明許費繰越計算書)

報告第2号

繰越明許費の報告について (令和3年度綾町農業集落排水事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書)

報告第3号

繰越明許費の報告について (令和3年度綾町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書)

<報告第1号、第2号、第3号共通> 令和3年度特別会計予算から翌年度に繰り越した予算(繰越明許費)を地方自治法施行令の規定により報告するもの。

議案第33号 綾町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和4年度の国民健康保険税の税率を改正する。
保険税の構成割合を所得割50%→51%、資産割2%→1%、応能割48%→48%(均等割=個人33%、平等割=世帯15%)とする。
基礎課税限度額は、3万円増の102万円(医療分65万円、支援分20万円、介護分17万円)。
高所得者は負担増。

反 (橋本) 基金から3,500万円の繰り入れを行い、国保税の大幅な引き上げではないが、いずれにしても支払い能力の限度を超えており、「昨年度と比べてわずかの値上げです。」と言われても被保険者の負担が重いことに変わりない。コロナ禍でくらしが非常に厳しい中、国保税の軽減こそが必要。9月の決算で積み立てもできるはず。基金のさらなる繰り入れ、法定外繰り入れも実施し負担を減らすべき。

反 (松本) コロナ禍に加えロシアによるウクライナ侵攻の影響で燃油をはじめ様々な物の価格が高騰しており、町民の生活は厳しさを増している。その様な中での国保税の負担増は、生活への更なる不安につながる。町民の生活を守るために今回だけでも基金繰入金金を約500万円増額して国保税分の負担増をゼロにするべきである。

議案第34号 令和4年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

■補正額:0千円 ■補正後予算:11億43,000千円 ※財源の組替え
国保税:35,931千円減(国保税の減額部分) 繰入金(国保準備積立基金):35,931千円

承認第3号 専決処分の承認について(綾町税条例の一部を改正する条例)

固定資産課税台帳は一定の措置をした上で閲覧できる。
省エネ改修工事をした住宅に係る特例の拡充。商業地等に係る固定資産課税の課税標準額の上昇幅を2.5%とする。

5月臨時議会:議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 討論有:※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議案一覧	松本俊二	青木 実	山田由美子	池田和昭	兒玉千歳	日高憲治	児玉 信	日高幸一	橋本由里	討論
条例	3	33号	可決	綾町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	●	※
		34号	可決	令和4年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	●	○	○	○	○	○	○	○	●	※
承認		3号	可決	専決処分の承認について(綾町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

6月定例議会：議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 討論有：※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議 案 一 覧	松本俊二	青木 實	山田由美子	池田和昭	兒玉千歳	日高憲治	児玉 信	日高幸一	橋本由里	討論
補正予算	1	35号	可決	令和4年度綾町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
		36号	可決	令和4年度綾町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
		37号	可決	令和4年度綾町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	2	1号	採択	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	●	○	●	○	●	○	○	○	●	※
		2号	不採択	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	●	○	●	○	●	●	●	○	●	※
意見書		1号	可決	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	●	○	●	○	●	○	○	○	●	

議会活動

小学生の議場見学

5月13日、6年生が議場を見学しました。実際に議長席をはじめ議員席や執行部席に着座して、本番さながらの雰囲気の中で、議員の役割や仕事など多岐にわたる質問が出されました。また、将来議員になりたいという頼もしい発言もあり、大変嬉しく思いました。これからも議会と様々な交流の場を作っていきたいと思います。



文教福祉委員会研修

7月11日から13日までの2泊3日で、滋賀県大津市にある国際文化アカデミーに研修に行ってきました。委員5人申し込みましたが、3人の参加となりました。研修内容は、「社会保障・社会福祉」です。全国から80人が集まっての研修です。綾町の問題点や課題について学び、政策提案に活かしてまいります。



ここが聞きたい 一般質問(要約)

6月13日・14日

町行政の基本的な考え方や問題点を議員が町長等に問いただす一般質問は8名が行いました。
ご質問がある場合は各議員にご連絡ください。

議＝議員 町＝町長 副＝副町長 教＝教育長 課＝課長 監＝監査委員



松浦光宏議員

教育長・町長に問う

議 「郷土愛のもと世界に羽ばたく人材育成」という綾町の教育目標があるが、教育長はどのようにすれば良いと考えるか。

教 地元の方たちとの交流を通し、ふるさとの良さ、課題を小学生の頃から自分のものとして受け止め、綾町に対してどのようなことが貢献できるか、子どもたちが考えていく学習を進めることが大切。理想的には綾町に帰って来て、綾町を全国や世界に発信していけるように育てたい。

議 子どもたちが議場見学に来て、いろんな質問をもらい回答した。議会や行政に興味を持ってもらい、子どもたちが将来こうしていきたいという想いを少しでも養っていけるよう貢献できればと考えている。議会としても協力するので、教育の一環として組み込み、子どもたちと交流する機会を与えていただきたい。

教 地元で働く方々と教職員が直接話をし、ふるさと学習に盛り込んでいく。

議 綾町の長所・短所は何か。

教 長所は豊かな自然が保護されている環境で、課題は綾町に限らず多くの地方自治体が抱えている人口減少。

議 人口減少は自治体共通の問題であるからこそ、綾町が先頭に立って他の自治体を引っ張っていくくらいの施策をいま打たなければならない。他の町村が実施してからやるという受け身の姿勢では食い止められない。

教 同感だ。交通の便も良くなり様々な環境が整っていけばバランスの取れた住環境が作っていける。学校教育を一つのPRの材料にできるように力を入れていきたい。

議 高校生に対する補助は、今のままで大丈夫か。

町 喫緊の課題である人口減少は、一つの事業ではなく複数の事業で支えていく必要がある。高校生の定期券購入補助については、スクールバスなどを利用する学生まで範囲を広げて支援することを検討したい。

議 中学校までは国の補助もあるが、高校になるとかなりの負担となる。そういうことを踏まえて様々な施策を打ってほしい。また、情報についても早期に共有して欲しい。

町 通学費だけでなく、教育委員会と連携して総合的に支援したい。

議 高校生の医療費無償化できないか。また、試算したことはあるか。

町 給食費の補助を早ければ今年度下期から実施できるように協議・検討している。高校生の医療費無償化についても現在事業費を積算中で、できれば年内に条例等を整備して新年度からスタートできるように協議・検討を始めた。

議 高校生の医療費無償化は、東京都では既に決定している。都心部から地方に移住してもらうことを目標にしているのに地方が遅れるのはおかしい。地方だからこそ必要な施策なので、来年度と言わずに今年の9月議会に提案して欲しい。試算については、中学生まで無償化する際に検討して予算を組んだが実現しなかった。高校生まで無償化しても、予算が膨れ上がるとは考えにくい。

町 都心部では医療費の無償化が進んでいる中、地方が遅れている。移住して来たのに以前より支援が低下したとにならないよう検討していく。

議 他がやるからやるのではなく、綾町が他の自治体を引っ張る気概でぜひ取組んで欲しい。

町 人口減少対策にも関係している。綾町が後れをとらないように先んじて色々なことに取組んでいきたい。



新教育長はどんな考えを

議 就学援助の基準を設ける考えはあるか。

教 明確な基準がないのは弾力的運用のため。

議 町長は一定の基準を設け、個別の事情を考慮すると答弁している。ぜひ基準は必要。制度は資料配布にとどめず説明もすべき。

教 全ての保護者に周知できるよう参観日等で資料配布、口頭での説明も実施する。

議 運動会を春にする考えは。

教 県内は小学校で春1割、秋9割。中学校は春4割、秋6割で春が増えている。熱中症対策が一番だ。来年度以降、中学校を5月に変更できないか検討している。中体連など関係する諸団体と協議・検討したい。

議 コロナ禍や物価高騰など暮らしが大変だ。学校給食費の減免制度導入はどう考える。

教 給食は心身の健全な発達に重要だ。地元食材利用は食育に役立つ。給食費減免はコロナの影響で家計の急変が起きれば早急な対応が必要。先進事例も参考にし、定住の促進にもつなげたい。

議 奨学金制度は、通年受付をするとされたが他に改善点はないか。

教 お金の入出金に伴う貸付金管理や返済管理は煩雑でシステム導入を検討する。今回代議員制の廃止で寄付金も下がることも想定。町運営の事例も調査し、制度の運営に努める。

議 奨学金利用は、役場職員など情報収集しやすい人の利用が多い。中学校では説明がない。情報提供の工夫が必要。通年受付も情報が不十分。

課 中学校で11月頃説明会をしたい。

議 300万円もの借金（奨学金）を背負って卒業などのニュースを聞く。返済しない奨学金制度が必要だ。また利息軽減の方法もある。そんな情報も提供すべき。

町 負担がない方法を探っていく。教育委員会にも指導する。

議 小学生の重いランドセルは平均5.7kg、10kgに及ぶ。綾では置き勉は可能か。

教 近年教科書のページの増などで重くなっている。子どもの過度な負担で熱中症や交通事故も心配。早急に改善策を講じるべき問題だ。現在は1年生で平均の半分くらいの重さに。5-6年生で7割の重量削減が達成されている。

コロナ感染の不安や物価高騰どうする

議 濃厚接触者はだれが決める。

町 濃厚接触者は事業の単位で決めることになっている。

課 一定期間自宅待機となる。

議 家族の不安解消にはPCR検査が必要だが、医療機関はダメ、木下グループもダメだ。医療機関では1万円や1万8千円払った人もいる。宮崎市の一帯では県民ならだれでも無料だ。なぜ情報を提供しないのか。

町 調べて分かりやすく町民に知らせる。

議 物価高騰への対策は

町 町民一人当たり9千円の商品券を配布し、今後状況を見極めながら施策を講じる。

議 皆大変な思いをしている中、町立保育所は1時間延長ごとに100円徴収している。綾幼稚園・綾保育園は徴収なし。免除できないか。

町 初めて知った。状況を調べ負担軽減を考えたい。

農業・農家をどう守る

議 基幹産業の農業、価格保証制度は中止でどう守るのか。

町 農畜産業は基幹産業だ。振興の必要性は大きい。一方価格の低迷や飼料等農業資材の価格高騰など厳しい状況だ。新たな経営安定対策事業の再構築の実施、関係者の連携で経営安定対策を推進する必要がある。綾町の価格保証制度は、国が推進している収入保険の移行で対応する。

議 部会全てから継続の要望が出されているのに町長一存で制度廃止が決められるのか。

町 事務局から提案し、やむなしということになった。

議 収入保険に加入ができない農家への対応。

町 要望はしっかり農林振興課で聞いて対応。

課 白色申告者は加入できない。新たな対策・取組みを課内で検討していく。

議 一概に国が良い制度を作ったという評価はできない。一部の農家を加入させないのにそれでも中止する。基幹産業と位置付けていないことの証だ。

町 緑の食料システム戦略交付金事業が始まる。よそとは違う魅力を活かし、有利性を伸ばししっかり支援する。

その他

■重いランドセル ■校則 ■立腰教育
■ごみ問題 ■町長の議会答弁
■高齢者福祉 ■職員研修
などについて質問しました。



約束やルールを守る町政を!!

新型コロナ対策について

議 支援策として、水道基本料金の2ヶ月無料化（約460万円）や小中学校の給食費の2ヶ月無料化（約505万円）は検討できないか。

町 水道基本料金については2ヶ月無料化、給食費については補助率の見直しや食材費上昇分への補填等を9月補正予算にて対応する。

危機管理について

議 他の自治体では、コロナ禍においても防災への様々な取り組みを実施している。これまで何度もその取り組みの重要性を訴えてきたが、綾町では今年度も具体的な計画は無いのか。また、ボランティアの受入れ体制は確立できているのか。

町 今年度は一斉訓練を見直し、11月から2月頃にかけて6地区での訓練を検討中。具体的な内容については、避難所への経路確認、炊き出し訓練または災害用非常食の調理訓練、ハザードマップを使った危険箇所の確認を予定。

課 訓練実施予定の6地区は、上畑・四枝・中堂・揚町・立町・南麓を検討中。

副 ボランティアの受入れは、社会福祉協議会が指定されており、今年度も研修を実施する予定。

議 危機管理は災害以外でも極めて重要だ。山口県阿武町での給付金4,630万円の誤振込事件でもわかるように、問題を発生させないための、また早期解決のための基本でもある。舩田町長になってから様々な問題が発生しているが、残念ながら解決に至っていない。危機管理に対する意識が足りないのではないのか。

町 指摘されたことを肝に銘じて、災害に限らず危機的な状況を起こさない、また起きて最小限の影響にとどめることを心掛ける。

新教育長に問う

議 これからの教育には、学力以上に生きていく力「人間力」を養うことが重要。低学年の頃から総合学習に自治公民館制度を学ぶ機会を積極的に取り入れるなど、綾でしかできない学びを推進して欲しいと考えるが。

教 自治公民館制度や議会制度について、総合学習の年間計画に盛り込んで検討したい。

南俣保育所の統合計画について

議 中坪保育所との統合は、町長自身が白紙に戻した事案だが、その後保護者との協議を実施することなく、再び一方的に統合ありきで事を進めようとするのは極めて問題。人口減少や少子化への対策などと併せてしっかり議論すべきではないか。

町 保護者と話をする機会を設けて、町の考え方を理解していただくように努める。

綾川荘など宿泊3施設について

議 活性化協会が元従業員から提訴された件で、その原因を含めた状況や訴訟費用の負担について全く説明がない。説明責任を果たすべきではないか。

町 弁護士を通して協議中のため状況説明は差し控える。活性化協会が費用を負担するのが的確だと考えている。議会への説明については弁護士と相談する。

議 町長が、2年目の指定管理委託料を十分な協議もせず2,500万円から一方的に1,500万円に減額するなど、様々な約束やルールを守らないことで、施設運営に大きな混乱が生じている。また、活性化協会からの引継ぎは不十分で、この1年間も指定管理者に丸投げ状態で、町長の善管注意義務違反を問われても仕方がない状況だ。深く反省したうえで指定管理者との協議を進め、早急に施設運営の正常化を図るべきではないか。

町 2,500万円の委託料は公金であり、適正に使われているかどうかを判断するために資料の提出を求めた。また、資料の中の疑問点については、適切に説明してもらう必要がある。

旧総合基金に係る訴訟費用の支出について

議 訴訟費用を適正な手続き（承認）を経ずに独断で支出している。要綱に金額の規定がないから金額の承認は必要ないという理屈はおかしい。また、訴訟をするかどうかや訴訟費用に関する要綱の改正についても組織として承認されていない。その証拠に推進会議から町長の適正な手続きの実行を求める請願が提出され、議会で可決している。加えて、監査委員からも不適切との内容の意見書が出ているが、町長は全て無視している。公金からの支出であり極めて重大な問題だ。説明責任を果たすべきではないか。

町 推進会議で説明して承認されたと認識している。また、要綱に金額は明記されていないが、事務経費から支払うとあるので125万円を支払った。承認ではなく報告事項で問題ないと考えている。

監 一連の資料のチェックと色々な話を聞いたうえで、問題の把握に努めたい。

その他

■宮交のバス事業 ■イオンの森事業
■ゆめ応援プロジェクト ■尾立養豚場問題
■二反野地区メガソーラー事業
について質問しました。



地域防災

議 内閣府が今年5月に改正した災害対策基本法の中に、高齢者や障害者など自ら避難することができない困難な人たちに対する行動支援「個別避難計画」は作成されているのか。

課 「個別避難計画」については今後、検討していく。

議 災害が起きても誰も見捨てない仕組みが必要。行政と福祉の連携は。

副 災害弱者に関しては民生委員と情報共有している。

課 障害者、高齢者の一人暮らし等については地区ごとに把握しており、災害時には消防団等に情報が提供できる準備をしている。

議 準備はしていても、いざという時、行動に移せるのか。

町 今年は6地区の防災訓練を予定している。事前に避難経路等を含め、実際に避難訓練を行い、体感し災害から身を守る事を理解してもらう。

議 犬、猫に対するマイクロチップが義務化されたが、災害時には役に立つのか。

町 ペットも家族の一員と考える事から今後どの様に進めていくか検討する。

課 大規模災害時に迷い犬、猫の確認に役立つと思われるが、現時点での計画はない。今後、マイクロチップを活用した愛玩用ペットの管理面で、センサー器具の購入は検討したい。

議 地域防災倉庫をつくる予定は。

町 昨年度は役場に防災倉庫を設置した。今後は各地区に防災倉庫を設置する考えている。

宮原地区でのごみ収集実験の効果と課題

町 生ごみについては実証実験には含めていない。町民の利便性、将来的にカーボンニュートラルなまちづくりの視点から炭素フローを作成していく。

議 肥化に係るメタンガスの温室効果は、二酸化炭素の20倍といわれている。燃やしてしまったほうが、堆肥にするより良いのではないか。堆肥の中に洗剤など化学的物質が含まれていると、畑に還元できないと聞く。

町 生ごみを回収して堆肥化したものは、有機農産物の栽培に適していないと判断される。本来の目的、自然循環型農業とは程遠く、今後検討していく。

議 生ごみ収集や堆肥化による財政的負担、悪臭による精神的負担もあるが。

町 燃えるごみと生ごみを同時に、エコクリーンセンターに持って行けば手っ取り早いですが、綾町は自然との共生を図りユネスコエコパークの町にも登録されているため、今後広く町民の意見を集約し検討する。

議 自治会未加入世帯に対するごみ分別周知方法は。

町 転入者が自治公民館に加入しない傾向が多い。転入の際、ごみ分別の手引書を渡し周知している。また、ホームページにも記載している。今後、スマートフォンの専用アプリを使い、分別方法のサービスを開始する計画。

教育長に問う

議 綾町教育長としての意気込みは。

教 宮崎教育事務所指導主事、中部教育所長の立場で過去に5年間、主に学校教育、生涯学習の分野でかかわってきた。

綾町は、豊かな大自然を町民が大切に守り続け、他に負けない本物をつくる地場産業の町。学校は小中学校一校ずつあり、幼稚園、保育所を含め、綾らしい一貫した教育方針が行われている印象で大変魅力的な町であることを認識した。

教育長として、これまで積み上げてきた経験や教育理念を綾町の未来のために生かす事ができればと考えている。一日も早く「本物の綾の人間」となり、町民の皆さんとともに子どもたちへの教育を通して綾町の新しい未来をしっかりとつくりたい。



地域防災のために



これまでの質問から

【議】「綾町河川をきれいにする条例」はどこ市の町村の条例と比べて厳しいのか。

【町】町とJAとの公害防止協定は極めて厳しい条件だ。

【議】条例に罰則強化を織り込めないのか。

【町】慎重に検討すべき事項だ。

【議】公害防止協定を結んでいるのは何団体か。締結は機能しているのか。

【町】12団体と締結している。

【議】宮崎大学の河川水質調査の結果は。

【町】宮大ではなく、県環境科学協会に試料を提出し、分析を依頼している。

【議】尾立養豚センター污水改修工事状況について。

【町】次年度の補助事業の追加募集等もあり、県と情報共有しながら準備を進める。

【議】センター污水を公共下水道処理施設搬入はできないか。

【課】農業を守る観点も含め町民にとって1番ベストな方策を協議中。

【議】養豚センター周辺の環境調査が必要。

【町】自宅を訪問し、排水路の溜め桝の泥が悪臭の原因。事業者に清掃を指示した。

【議】行政は他人事とせず、きちんと向き合い早めの解決に向け対応すべき。

【町】真剣に議論している。早急に問題が解決できるようにしたい。

コロナ禍 町民のくらしをどう守る

【議】商品券の発行はいつになるのか。

【町】議会終了後、準備が整い次第、出来るだけ早く届けたい。

【議】ウクライナ情勢で長引く農家支援対策はないのか。

【町】農業者全員を対象に燃油・資材・飼料などの価格高騰対策を実施する。

【議】系統外の農家も含むのか。

【課】町の政策に該当する野菜はキュウリのみで、系統外も含む。

【議】その他キュウリ以外の支援はできないか。

【町】各品目の調査をして必要な対策を検討する。

高齢者の運転免許証返納を進めるために

【議】町内の交通事故はワースト何位か。年代別の事故の状況は。

【町】県内ワースト4位。令和3年度は、人口1万人当たりでは最悪で、町内での発生件数は17件。

【議】免許返納者には、年齢問わずバス・タクシー券で支援を行い、交通事故撲滅に向け町民一体で進めたい。

【町】令和3年度は10件の返納があった。今後年齢を問わず、動向を見て施策を講ずる。

【課】返納者の年齢とか、困る度（不便度）を分析しながら改めたい。

【議】交通事故撲滅に向け町民一体で進めたい。

民生委員の活動について

【議】厚労省の特別公務員として委託されているが、職務内容と委員数は。

【町】生活上さまざまな相談に応じ適切なサービスにつなげる役目。町内で15人、児童委員は2人の計17人だ。

【議】無報酬と聞くと、報酬を考えるべき。

【町】状況や内容を把握し、支援も考える時期に来ていると思う。

県道田代八重一綾線はいつ通る

【議】20数年通行止めが続いている。この線は綾町にとって大事な道路で、経済面でも大きな損失だ。全面解除はいつか。

【町】県が災害復旧事業や災害対策事業で早期開通を目指している。今後も強く要望していく。

【議】綾町にとって観光産業、林業、漁業、その他貴重な県道だ。町の強い取り組みに期待。

【町】防災工事の進捗や災害状況を考慮し、慎重に検討し要望する。

【議】道路開通と濁り解消にも取り組む必要がある。

【町】今後も注視・監視し、関係機関と協力していく。

【議】風物詩として「鮎やな」復活の要望がある。

【課】「ゆめ応援プロジェクト」も継続し、町の文化・風物詩として復活できるよう漁協にも相談したい。



民間委託どうなる！

【議】委託料の減額での影響、指定管理者の要望などはないのか。

【町】令和3年度の実績をふまえ、今年度決定していく。

【議】コロナの影響で収支決算について、宿泊3施設は厳しいと考える、その上で町とのトラブルが起きて6月30日に指定管理者の撤退を文章にて通告しているようだが現時点での判断は時期尚早だ。民間委託に委ねた判断は理解できるが、まだ一年ちょっとだ、指定管理者の継続は重要だと思う。

【町】宿泊3施設は町民の財産です、しっかり継続してやる事を主眼に考えて、なんとかこれを乗り越えていく。

新規事業について

【議】町民提案型ゆめ応援プロジェクト支援事業の進捗状況について。

【町】4月に20件の提案があり、審査により10件を採択。

【議】新規事業だが、町民に対して説明が不十分であり、まちづくり座談会などで周知が必要。下期の募集についてこのプロジェクトを成功させるため、予算に見合う対応をお願いします。

危険箇所の再認識

【議】危険箇所の再認識について、災害危険区域についての巡回の頻度、看板設置の状況の確認をしているのか。

【町】町内で土砂災害警戒区域等に119か所指定されているが、定期的に巡回はしていない、看板設置の状況については災害区域に立ち寄った際に看板設置の状況を確認している。

【議】危険区域の看板は重要だが、今後の対応は。

【議】経年劣化で表示内容が不明なところもある、調査を行い更新していく。



放置されたハウス施設

コロナワクチン接種について

【議】4回目のワクチン接種関係。

【議】接種希望調査票を集約し、態勢を整えて8月から町内3医療機関でスタート。8月下旬に集団接種の予定。

受診率を上げるには

【議】健康診断について、昨年度の実績、受診率向上の方策はないのか。

【町】昨年度の実績は特定健診受診者が710名、受診率は44.1%。令和2年度の受診者が720名で44.4%である。受診率向上の方策については長引くコロナの影響で、集団で受診することをためらう人もおり、受診率低下に繋がっていることも要因だ。安心して受診できるよう日曜健診を設ける。

【議】受診率は令和元年度の53.1%超を目標とすべき。国保税にも影響する。健康診断の重要性を考え町民に対し啓発を図ってほしい。

小中学校の現状は

【議】小中学校の不登校の人数は把握できているのか。また、問題解決に向けての取組みは。

【教】昨年度は小中学校ともに3名。不登校に陥る要因は、コロナでの閉塞感、ストレスやいじめ問題などがある。不登校の状態が継続している子どもについては、随時、担任や関係のスタッフが家庭訪問等をおこなっている。保護者にもしっかり寄り添っていく。

ごみの戸別収集は

【議】ごみの戸別収集、進捗状況について。

【町】今年度中には実施できるように努力をするが、ごみ出しが困難な高齢者などに対しそれぞれの地域で抱えている問題などを各公民館長に相談しながら進めていく。

施設ハウスについて

【議】後継者不足などにより廃業する農家もあることから、ハウスの移設や解体費用について、負担軽減の処置は検討できないか。

【町】農家の高齢化・後継者不足は綾町において喫緊の課題となっている。離農によりハウスがそのまま放置されると、耕作放棄の増加につながりかねないため、空きハウスの有効活用は農地保全の観点から重要だ。ハウス施設の問題についてもしっかり対応していく。



綾川汚濁の問題

議 4月開催の自然環境保全審議会の内容も踏まえて問う。昔、泳ぎながら水を飲めた川に今どのような負荷がかかっているのか。

町 肉眼での定点観測ではよくなっているし関係官庁の意識も変化した。土砂が原因だ。

議 尾立養豚センター汚水問題は再開に向けての話ばかりで、地元町民の被害の話が町から出てこないし最初から町民の声を聞こうともしない。一般町民は置いてけぼりだ。

町 処理汚水を河川放流か下水道に流すか未決定。決定後、町民に説明する。

課 聞き取り調査を1件した。

議 事件発覚後、平成3年に締結した公害防止協定に基づく調査はしたか。広沢の新養豚センターとは公害防止協定を結んだのか。二つの協定提出を求める。

町 調査はしていない。尾立の協定は提出する。広沢は当事者に確認してからだ。

課 広沢での協定は町が立会人として押印し魚協と経済連が締結した。

議 何かあった時、綾町としての責任はあるか。

町 行政としての責任はある。

議 綾北川汚濁対策検討会の具体的行動は何か。

町 林野庁、熊本県多良木町、宮大とも話したが一朝一夕で解決できない。

議 綾北川第2発電所改修の件で工事契約、土地開発行為届が出された後に、自然環境保全審議会を開くのは順序が逆で町民無視だ。町長はこの件を川の濁りと関係ないと言った。

町 記憶にない。ダムの特任家の判断にまかせる。

議 メガソーラの下で農業を営むことに、審議員から「とても期待する」「売電価格の1～3%を地域還元する事がヨーロッパで広まっている」との発言があったが。

町 環境社会影響調査の提出後に判断する。

旧綾川荘のプール工事費について

議 プール管理棟420万円の工事に疑問がある。外壁面積が大きく違い、75万円余計に支出し町に多額の損失を与えた。建物の面積も違う。3社見積りの数量は全て一緒でおかしい。町長の責任だが自己処分もしない。

町 細かく見ていない。自己処分するつもりはない。

スポーツ関連施設の赤字は

町 歳入は530万円で歳出は6221万円で高額だが、Jリーグ4チームが利用し多くの人がある。指定管理者制度も検討中だ。

町長のビジョン

議 以前から何回も聞くが汗を流している姿が見えないし、具体策もない。

町 町民一人一人が国際文化都市を目指し意識を高めることで一步一步進める。

議 耳にタコができる。「ビジョンはありません」と言った方がいい。夢応援プロジェクトの最終判断は誰がするのか。

町 私が承認する。

新教育に問う

議 3月議会で5:4の僅差で承認された。初面会時に町長は失礼にあたるという理由で議員の質問を許可しなかった。教育長の人となり分らなかったのでも私は反対した。

教 経緯は知らなかったが質問があれば答えた。

町 第一印象の判断でなく人を見る目を養うべきだ。

議 全般的な外れの町長答弁だ。教育長は町長に苦言をすることはできるか。来年、別の新町長ならば教育長は進退伺いを提出するか。

教 必要があれば町長へ提言する。進退伺いはその時に決める。

ふるさと大使について

議 決定の経緯を聞く。違和感があるのは私だけではない。

町 情報発信力、人としての魅力があり私が決めた。

綾岳看板破壊(宮日掲載)

議 綾岳という有りもしない地名を付けたことが原因だ。謝罪する気はあるか。

町 その気はない。

農業支援センターについて

議 解散手続きの順序が逆で変だ。未利用地の計画はあるのか。例えば、古い長屋住宅の住民のための新居にできないか。

町 手続きは計画通りにする。活用計画はない。



ごみ 実証実験の結果は

議 現場ではかなりのトラブルが発生した。事前の住民説明が必要だった。これは住民の負担軽減対策だ。今後アンケートを取るなどデータ収集し、検討すべき。

町 これは住民の負担軽減対策だ。今後アンケートを取るなどデータ収集する。

課 臨時集積所の設置などの対策を取った。

議 アンケート結果を重視してほしい。

任期 1 年を切った今なぜ理事長交代か

議 シルバー人材センター、社会福祉協議会のトップの人事異動は理解できない。

町 社協は副町長の専門性が役立つ。シルバー人材センターは私が理事長を担当した。

議 役職の任期は2年だ。次年度から業務に支障が出ることもあり得る。職員の働き甲斐が町民サービスにつながるのであり、安易な考えとは思えない。

町 適者生存の言葉のように各施設が有効活用できるよう取り組む。

議 両施設とも町で最も大切な施設なのでしっかりした対応を。

解散間近な農業支援センター

議 解散は議会承認が必要ではないか。

町 承認は必要なく報告のみでよい。

議 就農している移住者の意見交換の場を設けてほしい。

町 できるよう取り組みたい。

議 他の自治体では、センターを活用した若者定住事業で実績を上げている。綾町独自の対策はあるのか。

町 本当の農業支援になる制度を考えていく。

どうなる綾町観光事業

議 基幹産業は農業と観光だ。なぜマラソンを活かせなかったのか。

町 身の丈に合った大会にするためだ。綾町に合った大会にしたい。

議 若者の有志たちが企画しているマラソン大会になるよう町が協力できないか。

町 予算的支援をふくめて力を入れたい。

宿泊 3 施設の運営は順調か

議 昨年4月1日での引継ぎが未完成のままで、ボタンの掛け違いが発生して今も続いている。行政の事業としては不備としか言いようがない。

町 5か年の指定管理契約を結んでいる。2年度は2年度で契約が必要だが、話がまとまらない。

議 協定書は双方が納得して押印している。指定管理者も月次報告は提出している。4月5月で十分確認できるはず。町の指導力・管理力が問題だ。

町 数字は理解できるが、確認する資料の提出がない。

議 それはおかしい。4-5月分で分かるはず。年度末までもめているのは理解できない。解決を急ぎフルオープンを望む。

町 最も重要な施設なので、しっかり存続、持続する方向で進めていく。

教育行政に力を入れて

議 ヤングケアラーや不登校が社会問題だ。町としてどんな策があるか。

教 細心の注意を払い、教師も含めて学校で対応したい。

議 本当に重要なことだ。手遅れにならないように対応すべき。育英会事業で代議員制度を廃止した。事業の希薄化につながる。

課 施策が町民負担にならないように取り組む。

議 町民参加型で任意の事業にできないか。

町 担当職員不足もあつての決断だった。体制を見直して取り組みたい。

議 綾町で育った子どもが綾町に帰ってくる循環型教育が望ましい。

災害を最小限に

議 庁舎屋上の雨量計を利用した警報システムはつくれないか。

町 避難遅れの無い体制を作りたい。

議 災害発生後の対応策は大丈夫か。

町 職員初動マニュアルで対応できる。

議 地域に合った防災マップ作成を急ぐべき。

町 県の河川浸水想定調査報告を受けてから地域に合ったマップ作成を検討したい。



役場屋上にある雨量計

住民福祉は

議 民生委員の体制強化をすべき。1人で多くの安心カード所持者を担当している。災害時や緊急時に混乱するのではないかと。サポート体制が急がれる。

町 公民館をふくめた体制作りを願いたい。

表紙について

いよいよ夏本番!フォレスト綾川荘のプールが7月16日にオープンしました。コロナを吹き飛ばすような子どもたちの笑顔がまぶしいです。綾町の活気につながるよう、子どもたちはもちろん、家族連れや多くの人々が足を運んでほしいものです。



議会目誌

議会報編集委員会

7月1日(金)、7月8日(金)
7月14日(木)

9月議会のお知らせ

9月議会は9月上旬の開催を予定しています。

日程が決まりましたら、
ホームページ等でお知らせします。

編集後記

梅雨明けと同時に連日猛暑が続く中、台風シーズンを控え災害も心配です。

身を守るために各自対策を取りましょう。

一方では、いまだに続くロシア・ウクライナ紛争の影響で燃油をはじめ様々な物の値段が上がっており、町民生活は非常に厳しい状況です。

行政と協力して、積極的かつ効果的な経済対策を実現していきたい。

議会報編集委員会一同

発行／宮崎県綾町議会

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 515 TEL:0985-77-2947

発行責任者／【綾町議会議長】松浦光宏

議会報編集委員会／【委員長】児玉 信 【副委員長】橋本由里 【委員】松本俊二、青木 實、日高憲治、山田由美子